

平成26年度全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果について

平成27年7月10日(金)

奈良県教育委員会

目 次

平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

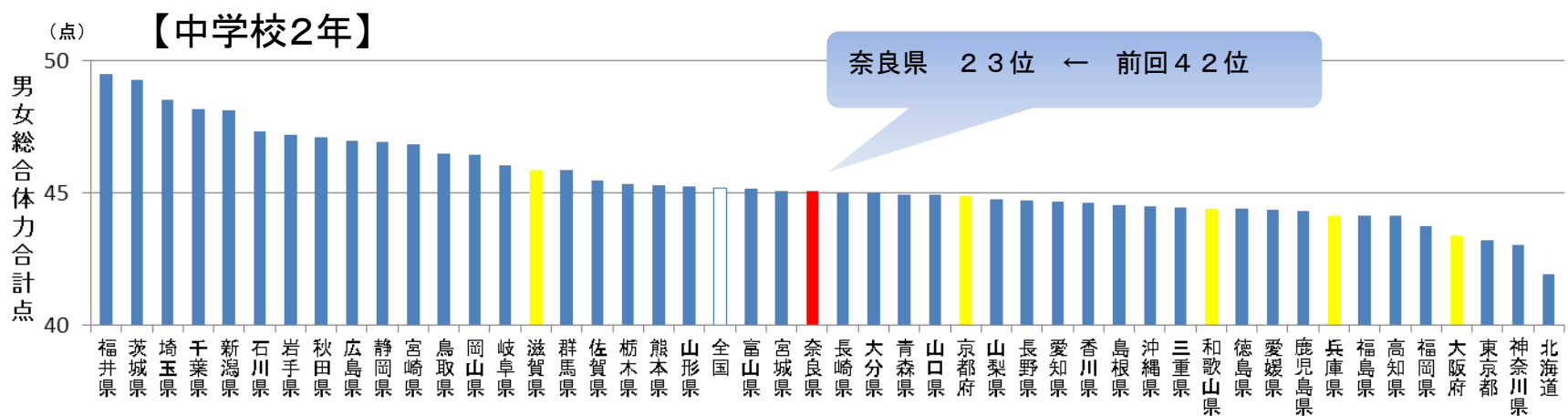
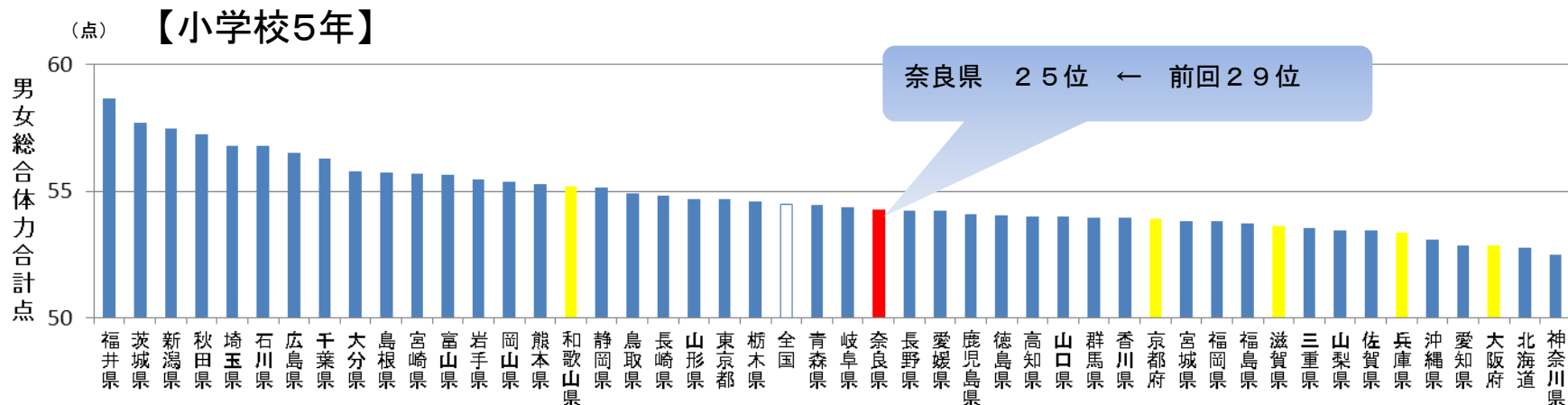
- | | | |
|------------------|---------|----|
| 1 平成26年度調査結果について | P | 1 |
| 2 平成25年度調査結果との比較 | P | 7 |
| 3 福井県との比較 | P | 13 |

1 平成26年度調査結果について

1-1 体力合計点(都道府県別比較)

・都道府県別にH26男女総合体力合計点を見ると、奈良県は小学生25位(昨年度29位)、中学生23位(昨年度42位)と順位を上げている。特に、中学生の体力合計点の前年からの伸び幅は男子が1.35で全国1位、女子が1.58で全国2位であった。

注) 男女総合体力合計点: 男子・女子の体力合計点を相加平均したもの 伸び幅: 平成26年度体力合計点 - 平成25年度体力合計点

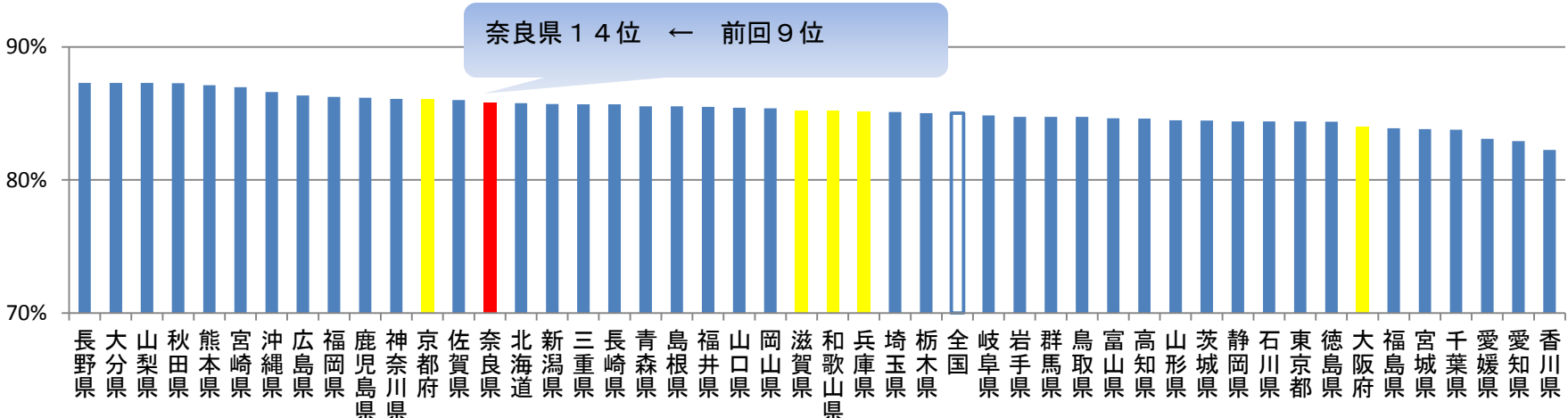


1-2 「運動が得意」と回答した児童の割合(都道府県別比較・小学生)

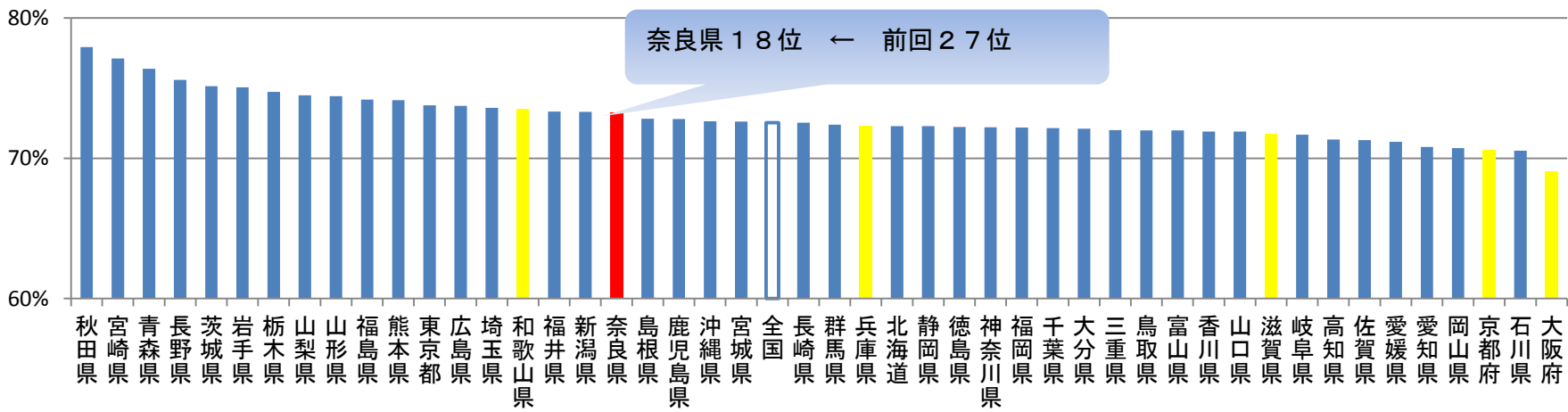
・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、体力合計点と「運動が得意」と回答した児童の割合との間には、特に小学生女子において相関が見られた。(男子R=0.13 女子R=0.44 R:相関係数)
 ・「運動が得意」と回答した児童の割合を都道府県別に見ると、男女とも全国平均を上回っている。

R=相関係数(絶対値)	相関の強さ
0.7以上	強い
0.4以上0.7未満	中間の強さ
0.2以上0.4未満	弱い
0.2未満	相関がない

「運動が得意」と回答した児童の割合(小学生男子)



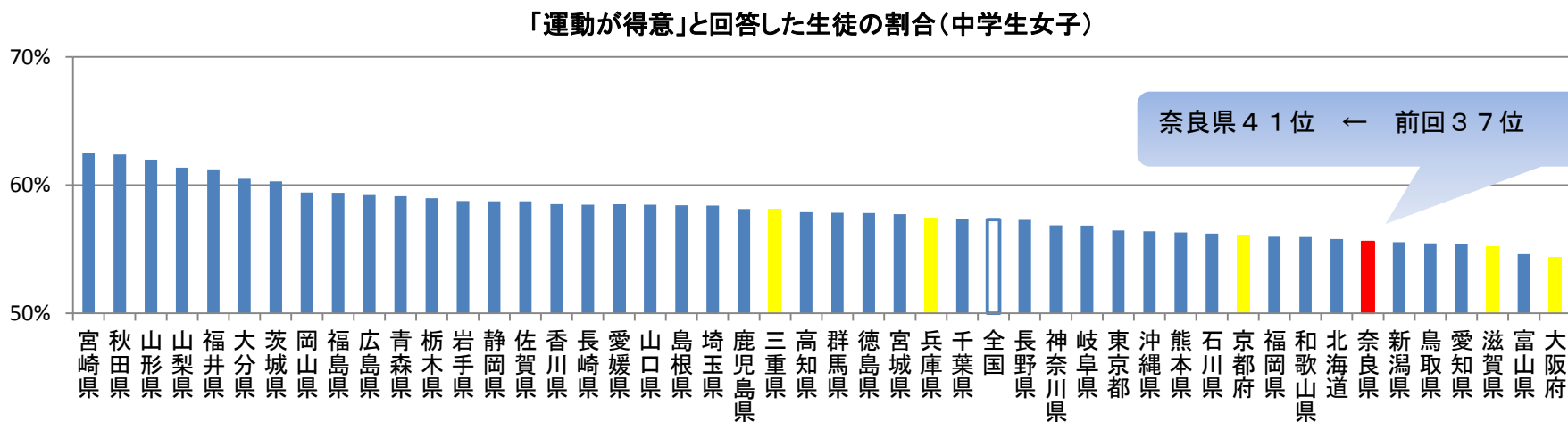
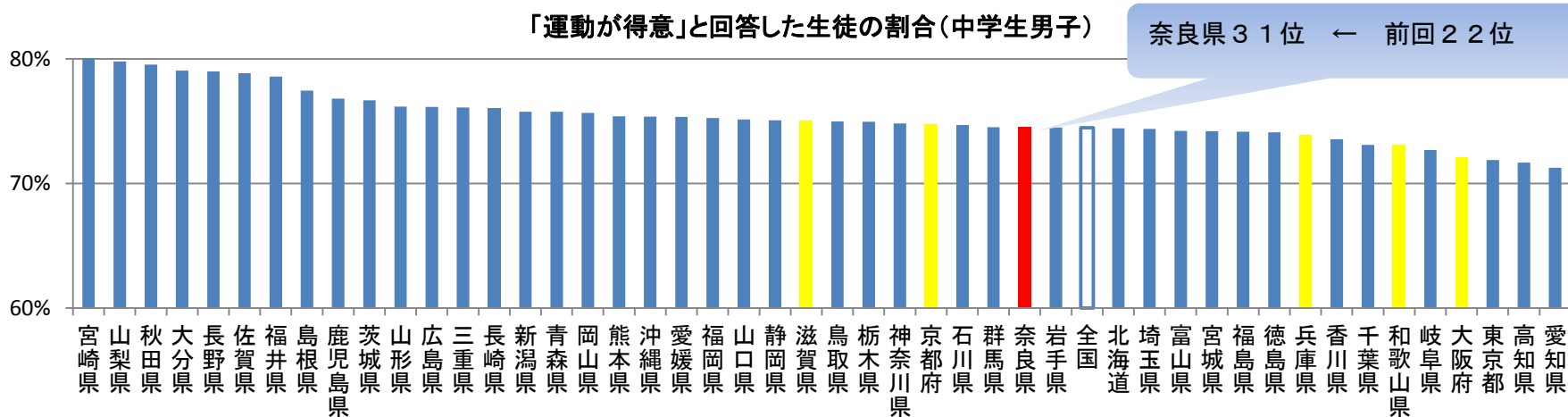
「運動が得意」と回答した児童の割合(小学生女子)



出典: 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)

1-3 「運動が得意」と回答した生徒の割合(都道府県別比較・中学生)

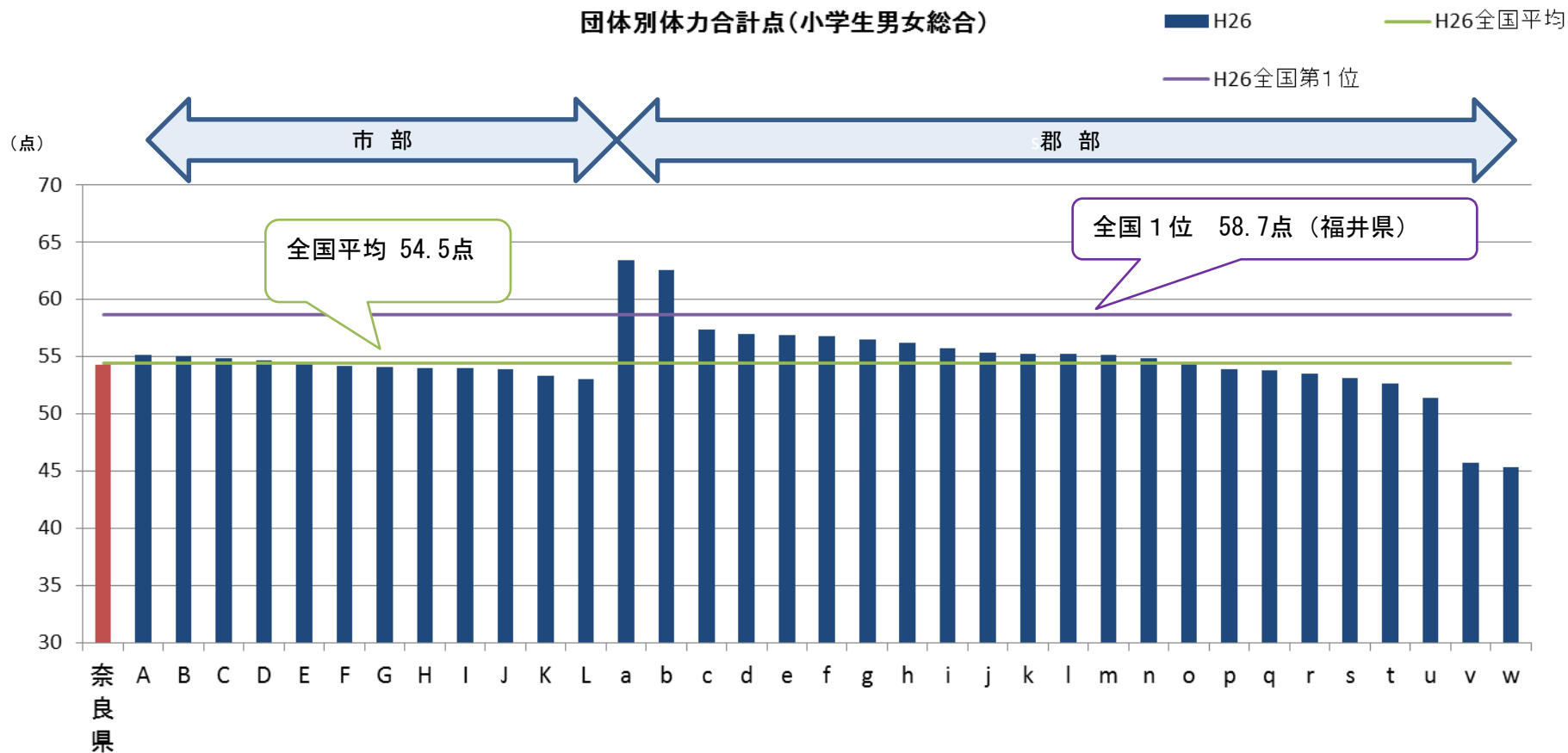
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、体力合計点と「運動が得意」と回答した生徒の割合との間には、相関が見られた。(男子R=0.38 女子R=0.34 R:相関係数)
- ・「運動が得意」と回答した生徒の割合を都道府県別に見ると女子は全国平均より低位である。



出典: 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)

1-4 体力合計点(団体別比較・小学生)

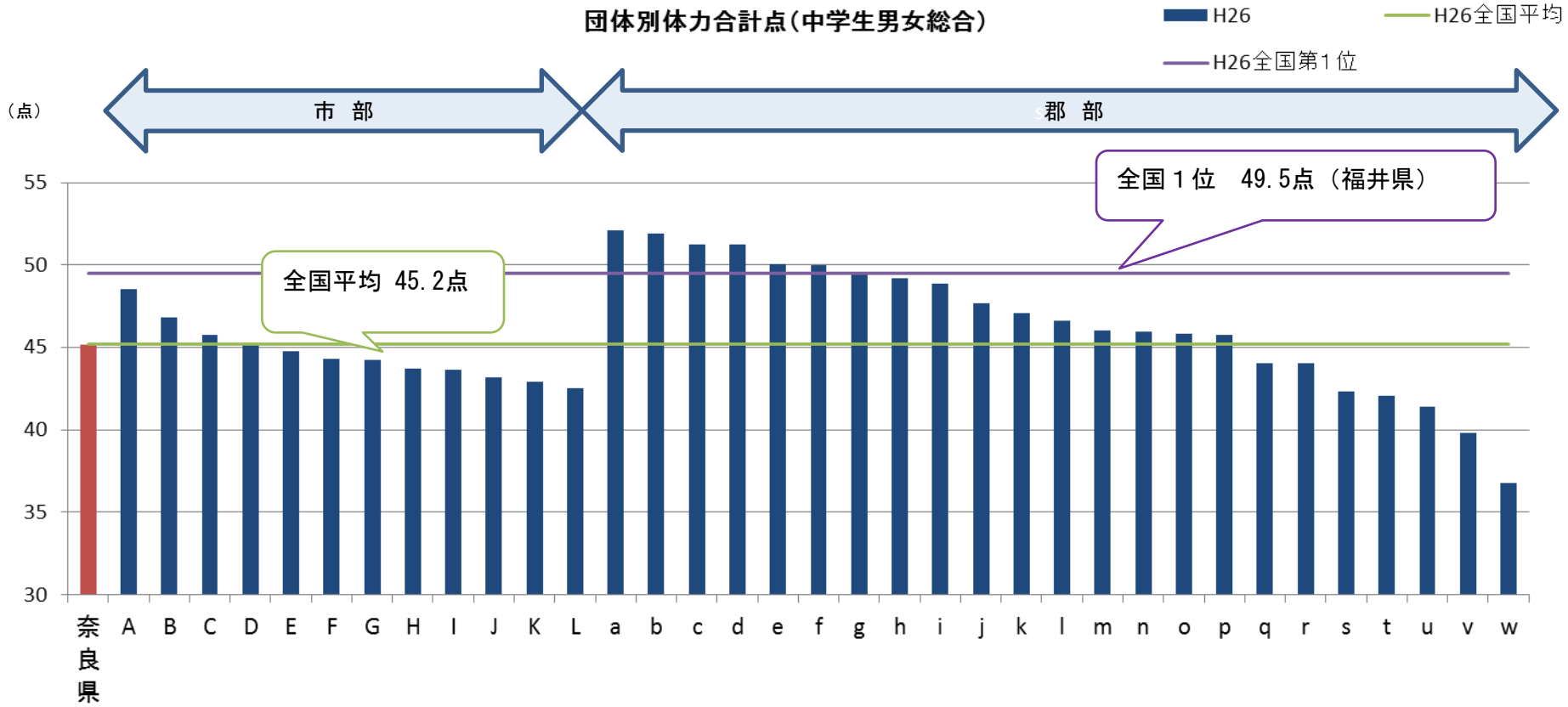
・団体別に体力合計点を見ると、全国平均を上回っているのは、市部では、12団体のうち4団体33.4%(昨年度33.4%)、郡部では、27団体のうち17団体63.0%(昨年度55.6%)。



※ H26の児童数が3人以下及び男子又は女子児童数が0人の4団体は非表示

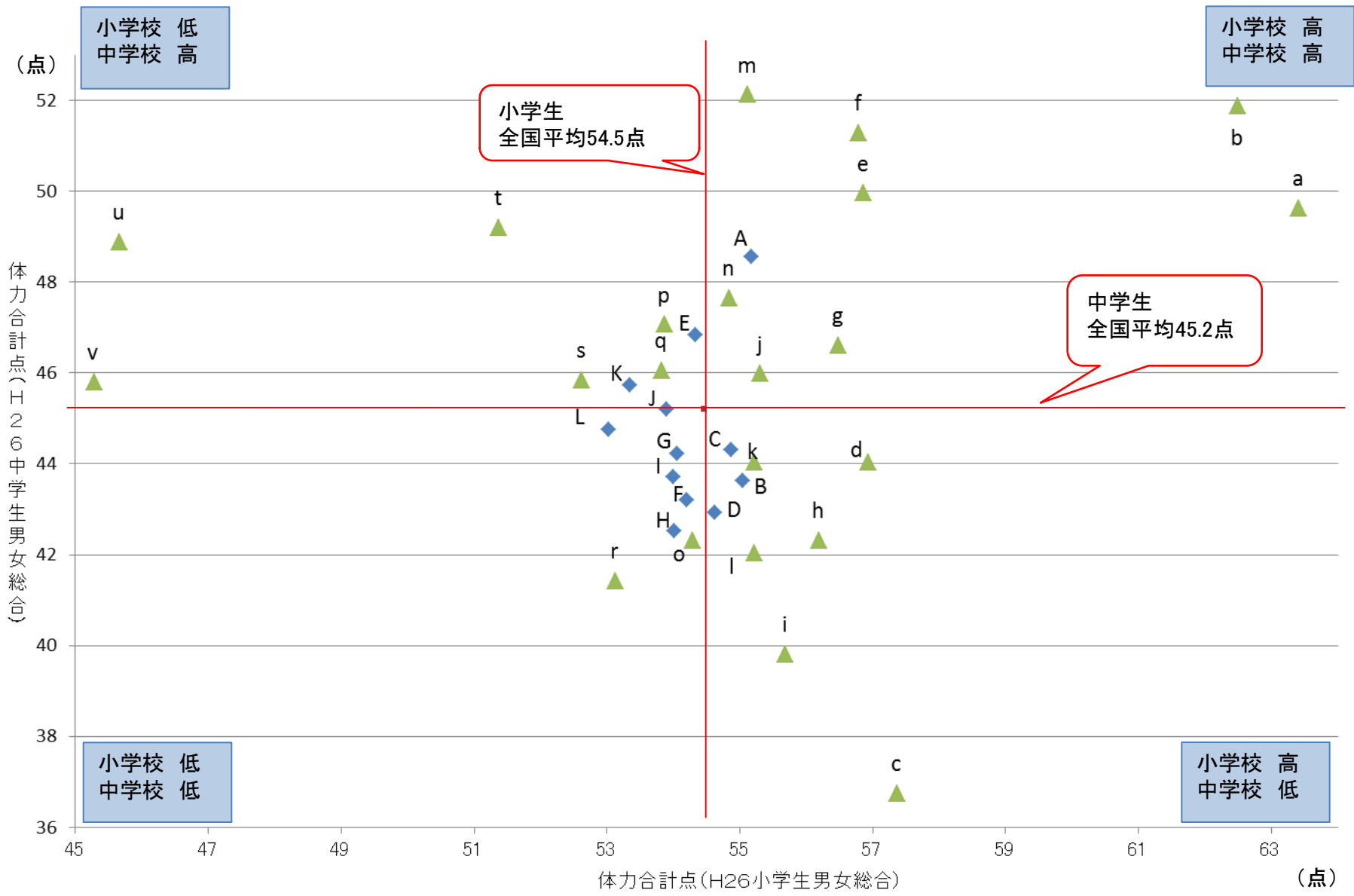
1-5 体力合計点(団体別比較・中学生)

・団体別に体力合計点を見ると、全国平均を上回っているのは、市部では、12団体のうち4団体33. 4%(昨年度16. 7%)、郡部では、24団体のうち16団体66. 7%(昨年度53. 8%)。



H26の生徒数が3人以下及び男子又は女子生徒数が0人等の3団体は非表示

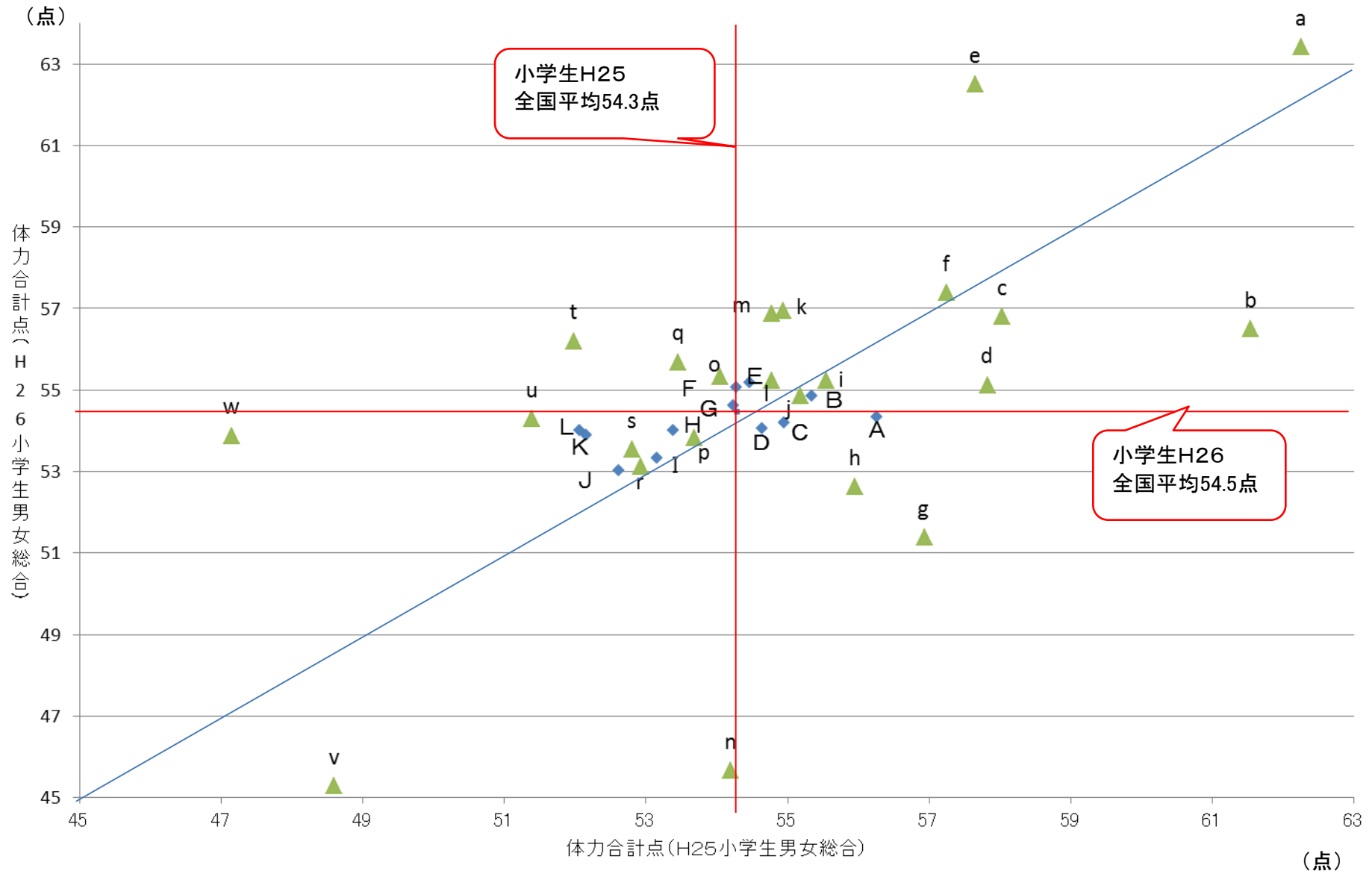
1-6 体力合計点(団体別比較・小学生と中学生)



H26の児童生徒数が3人以下及び男子又は女子生徒数が0人等の5団体は非表示

2 平成25年度調査結果との比較

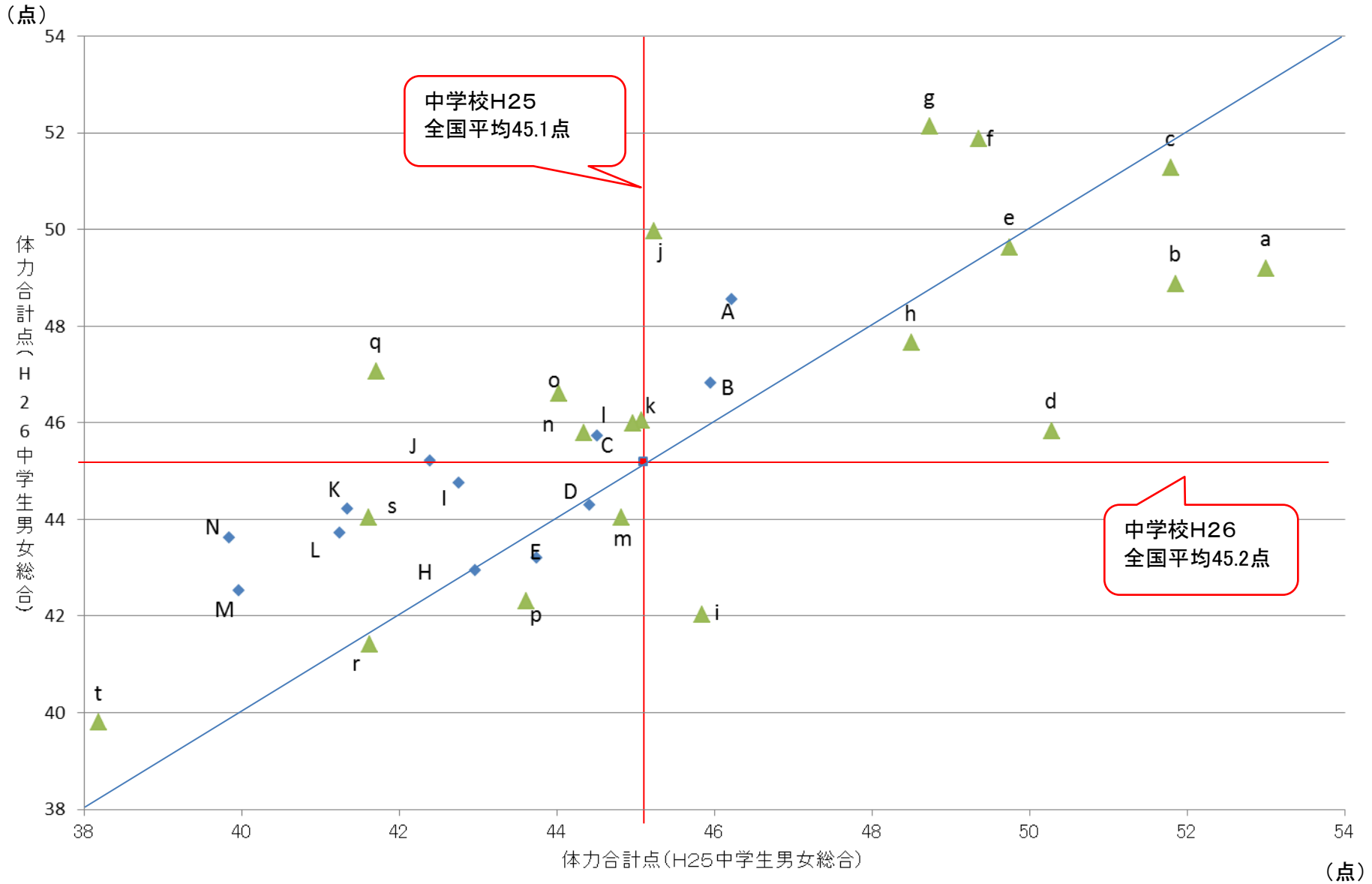
2-1 体力合計点(団体別比較・小学生の推移H25→26)



H25・H26の児童数が3人以下及び男子又は女子生徒数が0人等の4団体は非表示

出典: 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)

2-2 体力合計点(団体別比較・中学生の推移H25→26)



H25・H26の生徒数が3人以下及び男子又は女子生徒数が0人等の6団体は非表示

出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)

2-3 体力向上の取組例(小学校)

三宅町

体力合計点 4. 2ポイント上昇

運動が好き 26. 5ポイント上昇

<三宅町の体力向上に向けての取組>

- 毎週火曜日朝に全校児童が「朝スポ」(1学期は「サーキット運動」、2学期は「ランニング」、3学期は「縄跳び」)に取り組んでいる。
- 三宅町スポーツ少年団で、陸上、野球などのスポーツに取り組んでいる。

川西町

体力合計点 2. 9ポイント上昇

運動が好き 5. 3ポイント上昇

<川西町の体力向上に向けての取組>

- 休み時間を利用してドッジボール大会や大縄大会等を実施している。
- NPO法人川西スポーツクラブに全児童の約6割が参加してスポーツに取り組んでいる。

大淀町

体力合計点 2. 2ポイント上昇

運動が好き 7. 1ポイント上昇

<大淀町の体力向上に向けての取組>

- 週1回、縄跳び、マラソントイムを設定し、全校で取り組んでいる。また、夏期には全校リレー大会、冬期には縄跳びに取り組み、年間を通じて体力づくりに取り組んでいる。
- 体育の授業前の5分間に、ダンスやゲームの要素を入れた準備運動を必ず行っている。

2-4 体力向上の取組例(中学校①)

大和高田市

体力合計点 3. 8ポイント上昇

運動が好き

4. 7ポイント上昇

<大和高田市の体力向上に向けての取組>

- 筋力・筋持久力や柔軟性・敏捷性の向上と、循環器・呼吸器の機能強化を目的として、授業開始時にサーキットトレーニングやストレッチ運動を十分に行う。
- 長期休業前後でミニ体カテストを実施するとともに、長期休業中に体力づくりを目的とした「パワーアップメニュー」を推奨している。

桜井市

体力合計点 2. 9ポイント上昇

運動が好き

5. 4ポイント上昇

<桜井市の体力向上に向けての取組>

- 保健体育の授業において運動量が増えるように指導内容を見直した。
- 保健体育担当教員が運動習慣の重要性を啓発する通信を生徒に向けて発行している。

2-5 体力向上の取組例(中学校②)

明日香村

体力合計点 3.4ポイント上昇

運動が好き

7.3ポイント上昇

<明日香村の体力向上に向けての取組>

- 体育の授業で村費講師を配置して、男女別少人数編成で指導している。
- 部活動にない種目については、明日香村総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」に加入して活動している。

王寺町

体力合計点 4.7ポイント上昇

運動が好き

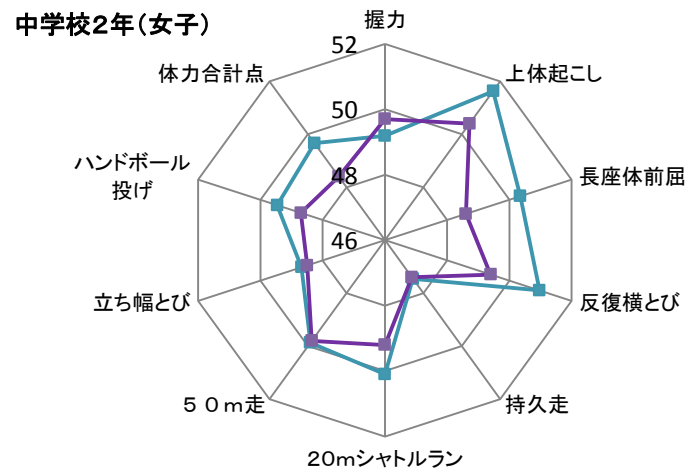
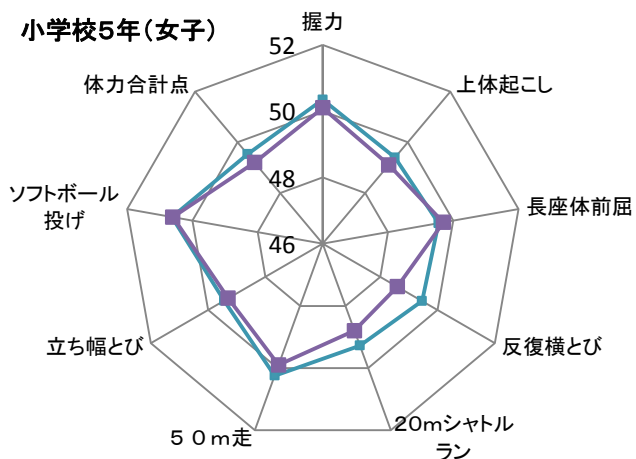
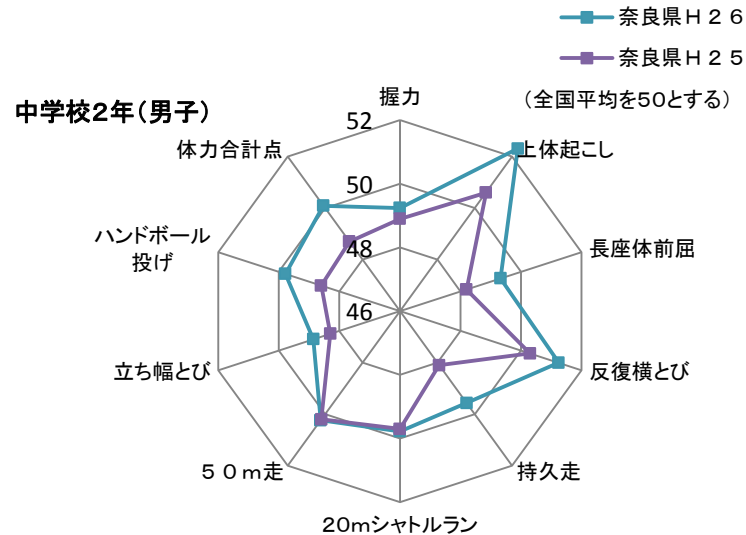
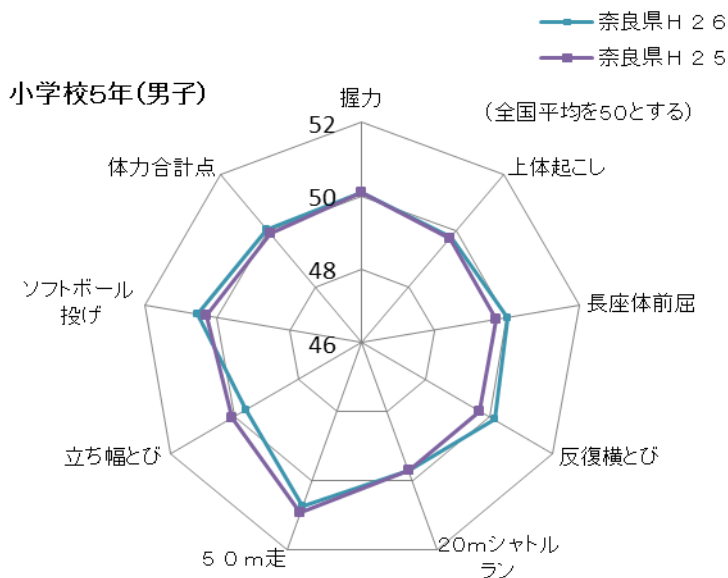
7.1ポイント上昇

<王寺町の体力向上に向けての取組>

- 7時30分から8時15分の0校時を活用して早朝運動を実施している。(サッカー、バレーボール等の対戦・リズムダンスなど)
- 投能力の強化のために、保健体育の授業時に、毎回器具を使って補強運動を行っている。

2-6 種目別の推移(平成25年度調査結果との比較)

- ・種目別に平成25年度と平成26年度の得点を比較すると、特に中学校の多くの種目で大きく向上している。
男女ともに前年度の記録を上回っているのは小学校で4種目、中学校で握力以外の8種目となっている。



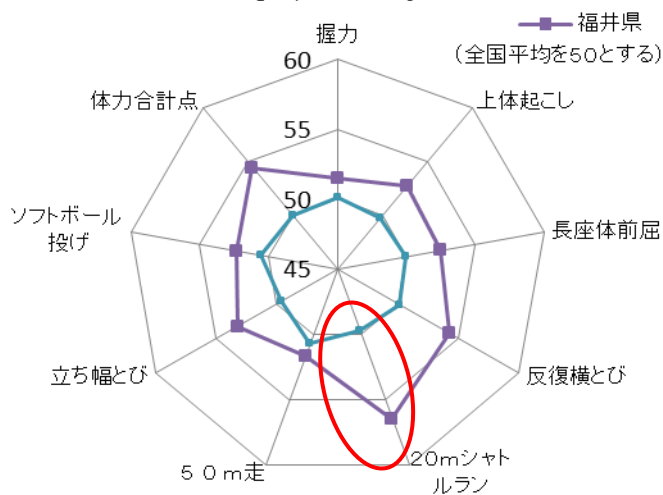
3 福井県との比較

3-1 体力の状況(小学生)

・福井県は、平成20年の全国調査開始以来6年連続で小学生全国1位を続ける体力トップ県である。特に持久力系の種目で全国平均を大きく上回っている。奈良県と比較すると、特に、20mシャトルランの差が大きい。

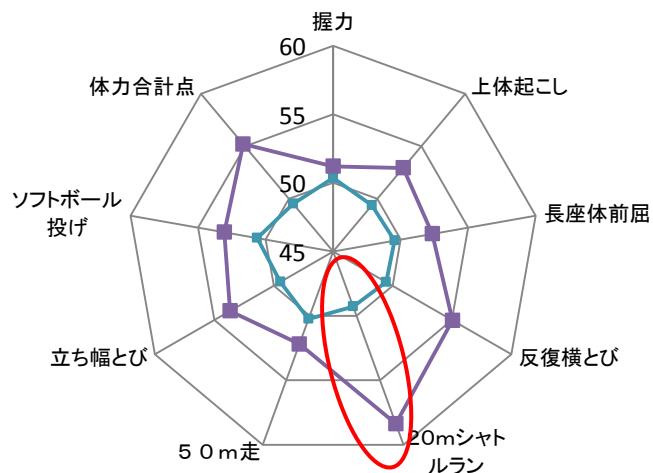
注)体力合計点:10点×8種目=80点

小学校5年(男子)



男子	体力合計点	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
福井県	57.87	17.12	21.08	34.88	44.91	65.14	9.22	158.72	24.76
福井県順位	1位	4位	3位	2位	1位	1位	2位	1位	3位
奈良県	53.93	16.58	19.43	32.88	41.74	51.06	9.31	150.92	23.33
奈良県順位	21位	23位	26位	19位	30位	32位	11位	28位	22位
全国平均	53.91	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.7	22.9

小学校5年(女子)

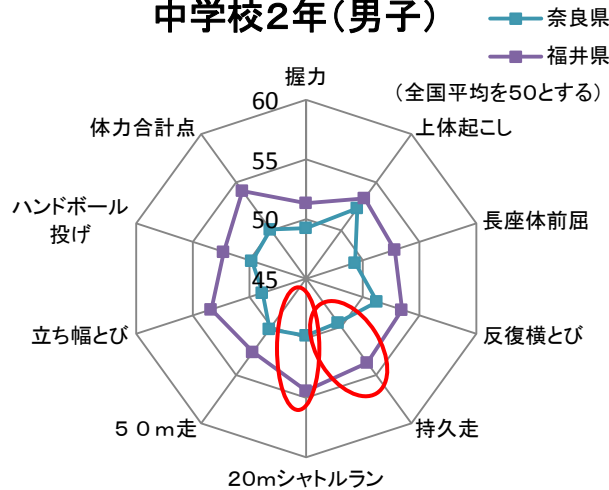


女子	体力合計点	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
福井県	59.44	16.54	19.81	39.14	42.95	53.93	9.46	152.27	15.36
福井県順位	1位	9位	3位	3位	2位	1位	1位	1位	1位
奈良県	54.61	16.22	17.94	36.84	38.98	39.11	9.62	143.62	14.2
奈良県順位	31位	21位	32位	25位	36位	31位	20位	33位	24位
全国平均	55.01	16.09	18.26	37.21	39.36	40.29	9.64	144.76	13.9

3-2 体力の状況(中学生)

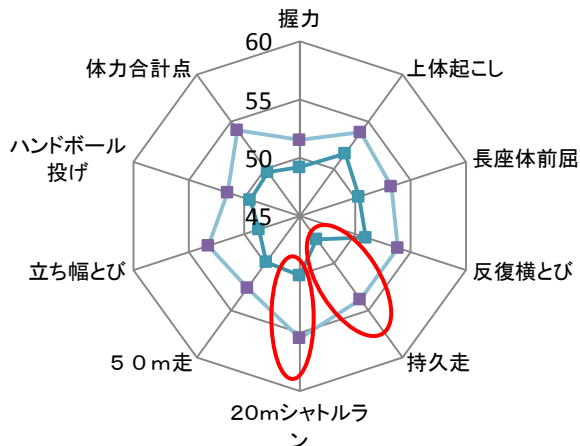
・福井県は、平成26年度の調査では、中学生も男女とも全国1位となった。種目別に見ても、男子は9種目中5種目、女子は4種目で全国1位となっている。奈良県と比較すると、持久走や20mシャトルランの差が特に大きい。

中学校2年(男子)



男子	体力合計点	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 1000m (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
福井県	45.83	29.95	29.49	45.84	54.03	369.3	95.98	7.81	202.85	22.12
福井県順位	1位	7位	2位	4位	1位	1位	1位	1位	1位	2位
奈良県	41.83	28.46	28.86	42.22	52.29	395.64	84.75	8.01	190.23	20.74
奈良県順位	23位	42位	3位	31位	13位	26位	29位	19位	43位	28位
全国平均	41.74	29	27.45	42.92	51.31	392.89	85.29	8.03	193.43	20.86

中学校2年(女子)



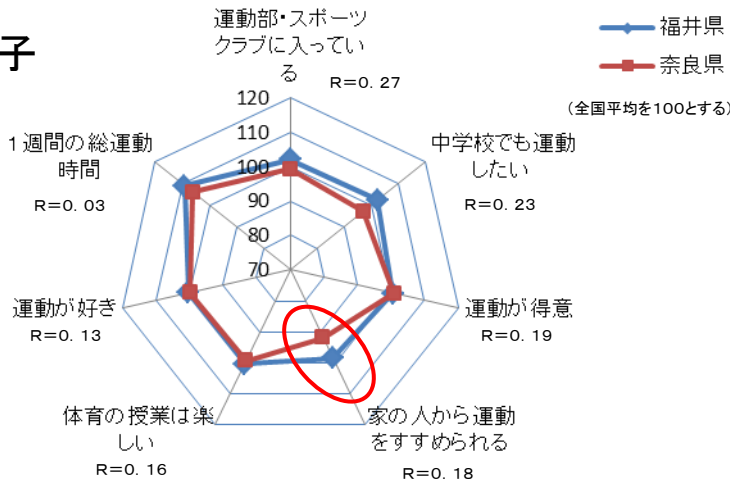
女子	体力合計点	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 1000m (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
福井県	53.14	24.4	25.31	48.4	48.18	273.69	68.88	8.66	174.55	13.49
福井県順位	1位	3位	2位	2位	1位	1位	1位	3位	1位	5位
奈良県	48.29	23.33	24.01	45.57	46.27	301.85	57.97	8.88	163.24	12.66
奈良県順位	25位	42位	7位	15位	17位	38位	26位	27位	43位	34位
全国平均	48.66	23.7	23.07	45.23	45.63	290.64	57.77	8.87	166.53	12.88

3-3 運動習慣等の状況(小・中学生)

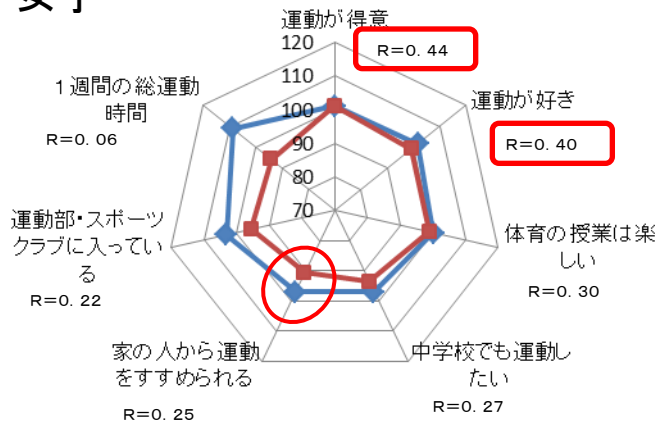
・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙の結果で、奈良県と福井県を比較すると、福井県の小学校では、「家の人から運動をすすめられる」と回答した児童の割合が多く、中学校では、「運動部・スポーツクラブに入っている」と回答した生徒の割合が多い。 注)Rは体力合計点との相関を示している。

【小学生】

男子

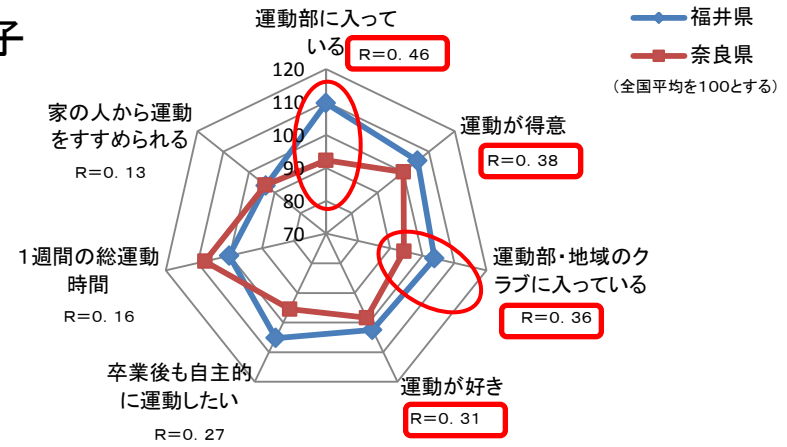


女子

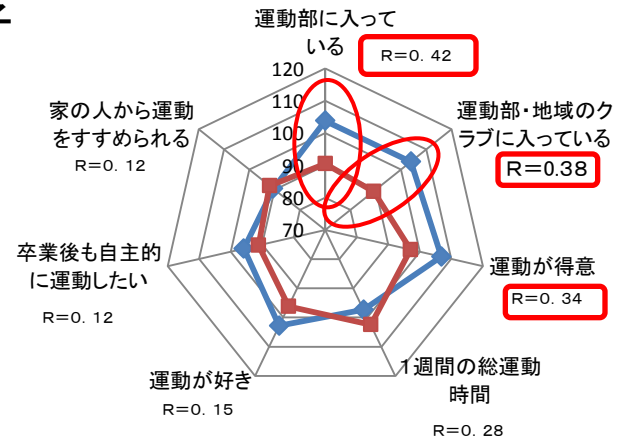


【中学生】

男子



女子



R=相関係数(絶対値)	相関の強さ
0.7以上	強い
0.4以上0.7未満	中間の強さ
0.2以上0.4未満	弱い
0.2未満	相関がない

3-4 福井県の体力向上に関する取組

- ・福井県では、体育行事について、全ての市町で小学生を対象としたスポーツ大会が授業日に実施されたり、体育の授業以外に業間運動等で運動時間を確保する取組を行ったりしている。
- ・外部指導者の活用についても、地域の指導者が中学校の運動部活動に多く派遣されており、学校と地域連携が進んでいる。



SAQトレーニング

	【福井県】	【奈良県の課題】
体育行事	全ての市町(17市町)で小学生を対象としたスポーツ大会が授業日に実施されている。 (実施率100%)	いくつかの市町村で陸上記録会や水泳記録会を実施しているが、少数である。 ※県水泳記録会と県陸上記録会、みんなでチャレンジ(イベント)に約5000人が参加。
業間運動	鯖江市等では、全ての学校で年間を通して、休み時間を活用した持久走やサーキットトレーニング等の運動を実施している。	一部の学校では、年間をとおして実施しているが、期間を限定して実施している学校が多い。 ※県ホームページ 「外遊び、みんなでチャレンジ！」登録数 H26 9170件 H25 7237件 2000件増
外部指導者の活用	外部指導者が充実しており、中学校運動部活動に多くの指導者を派遣している。 外部指導者の派遣校数 全75校中63校 (派遣実施率 84.0%) 外部指導者の登録数 全75校中228人 (1校あたり 3.04人)	外部指導者の派遣校数には、大きな差異はないが、指導者の派遣者数においては、大きな開きがある。 外部指導者の派遣校数 全105校中82校 (派遣実施率 78.1%) 外部指導者の登録数 全105校中116人 (1校あたり 1.10人)

3-5 体力の向上に向けた取組状況について

・学校全体で体力・運動能力向上の目標を設定して取組をしている学校と体力合計点には強い相関が見られる。福井県は、5年以上前から取り組んでいる学校の割合が大きい。奈良県でも、現在多くの市町村で取組が進められており、その成果が体力合計点にも現れてきている。

【小学校】

R=0.56

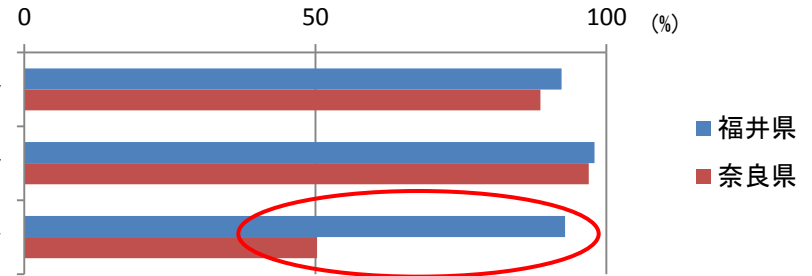
学校全体で体力・運動能力向上の目標を設定している小学校の割合

R=0.56

学校全体で体力・運動能力向上の取組をしている小学校の割合

R=0.41

体力・運動能力向上の取組を5年以上継続している小学校の割合



【中学校】

R=0.37

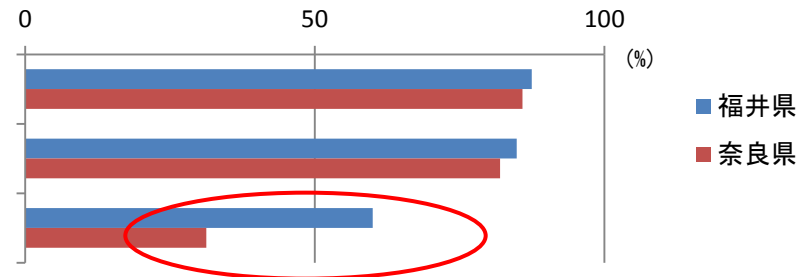
学校全体で体力・運動能力向上の目標を設定している中学校の割合

R=0.23

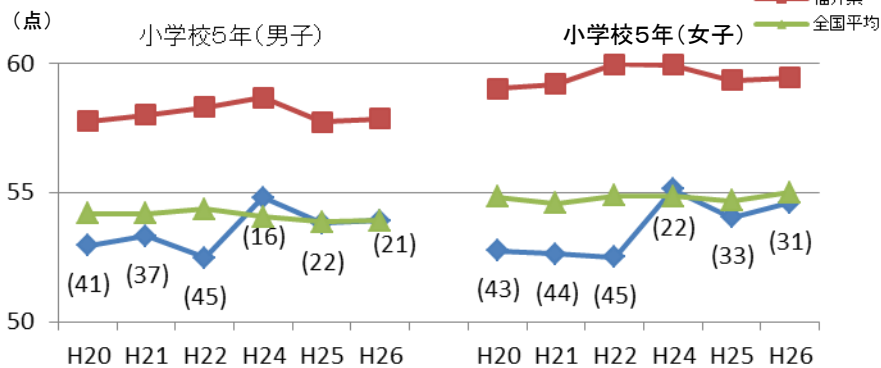
学校全体で体力・運動能力向上の取組をしている中学校の割合

R=0.23

体力・運動能力向上の取組を5年以上継続している中学校の割合

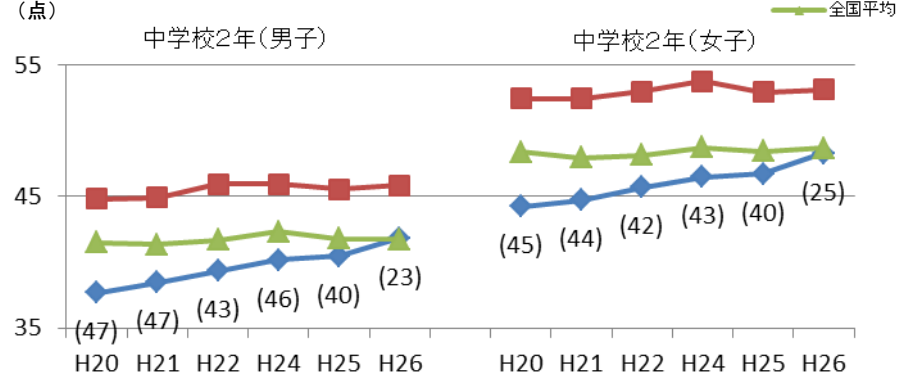


体力合計点の推移



()内は全国順位

体力合計点の推移



出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)

3-6 体力の向上に向けて

- 体力合計点が高い児童生徒と「運動が好き」「運動が得意」と答えている児童生徒との間に相関が見られることから、ふだんから、体育の授業は言うまでもなく「休み時間」などにおいても運動することの楽しさを味わうことができ、積極的に取り組みたくなるような働きかけをすることが必要である。
- 学校の部活動や地域のスポーツ活動が子どもたちの体力向上に果たす役割は大きい。部活動及び地域のスポーツ活動のより一層の活性化はもとより、優れた指導者の育成が重要になってくる。さらに、学校は優れた指導者の活用、地域と連携した活動をより促進することが必要である。
- 子どもたちの体力・運動能力向上の目標を設定すること、取組結果を検証することは重要である。また、教育委員会及び学校は、体力・運動能力向上の施策や取組を継続して続けることが必要である。